

第6回里山フェスティバル「里山シンポジウム」 工程表(敬略称) V6-5-090501 2009年5月1日 現在

完了	番号	分科会名	第5回代表者	テーマ名	趣旨	スケジュール	代表者・連絡先	会場	開催日時間	主要メンバー
	1	里山と森林・林業	稗田	農業と山武林業	かつて、山武の農業と林業は密接な関わりあいを持って成立していた。燃料構造の変化や外材の輸入によって森林は人々の暮らしから切り離され、堆肥を必要としない農業も森林に依存しない。しかし、山武地域の持続可能性を考えると、森林の水源涵養と風除けの機能は失うことができない。農業者と林業・建築関係者が地域循環の仕組みなかで協同する可能性を求めて、森林見学、林業家の講演、座談会を開き、サンプスギでつくられた建築を見学する。	・千葉県森林組合北総支所・横芝支部管内でサンプスギの森林を見学 ・山武市内のサンプスギの住宅を見学 ・山武市殿台公民館で林業家の講演と座談会 ・山武市歴史民俗資料館のサンプスギの内装を見学	代表：稗田 忠弘 TEL:0475-52-7510 FAX:0475-52-7511 mail: hie@beige.ocn.ne.jp	開催場所：サンプスギの森林、山武市内の住宅、山武市殿台公民館、山武市歴史民俗資料館	2009年5月30日 9:00～16:00	さんむフォレストと(LLP)グループ「木と土の家」のメンバー 13名 JA山武郡市に働きかけ、参加を促したい
	2	里山と伝承技能	木下	里山伝承技能の講座	初蒔きから田植え・草取り・収穫・脱穀・ご飯・しめ飾り・ワラぞうり・・・	参加申し込み・受講登録： 下記主催者が随時受け付けます。 ☆里山技能伝承講座の来年は、「大豆」を予定しています。豆腐・味噌・醤油などを蒔きから	さんむ・アクションミュージアム 木下敬三 tel 090-2725-1511 fax 0475-80-2661	稲作ほ場(田んぼ)： 山武市早船地区の谷津田とその周辺	2009年4月1日～12月31日 年間複数回 日時は後列連絡します	受講料： 参加費1回1人500円(保険料ほか)+別途材料費等。必要な時は事前にお知らせします
休止	3	里山と観光と食	遠藤		本年度は開催予定未定					
	4	里山と野生動物	中野	野生動物との共生 詳細は未定です	野生動物による農作物被害をどのように減らし、よりよい共生をはかることができるのか、を現地の農家の方々といっしょに考え、日本の他地域での成功事例などについての報告を専門家などにしてもらう。千葉県内の野生動物の現状を知る他。		中野真樹子 090-1997-6691	勝浦、君津、夷隅など獣害の地域 場所は、獣害が実際に起きている地域。(勝浦?)		8月前半もしくは9月後半以降を予定。1泊2日での合宿形式。君津?夷隅?あたりを予定
	5	里山と田んぼと水鳥	荒尾	里山と田んぼと水鳥と	里山と田んぼと水鳥と。千葉県内に、近未来にトキ、コウノトリ、ガン類、白鳥類などを定着させることが、できるか否か話題としてはトキやコウノトリなども含めて、その意味と有意性を議論したいと考えています。 農業との関連性から、詳細は未定	水辺の、特に大型の渡り鳥の研究を行っているナチュラリストとしての立場で、昨年に引き続き、第2回目の「里山と水鳥と農業」の分科会を開催したいと企画中です。7～8月を日時に、千葉県立中央博物館で開催を計画。参加者全員に意見を述べていただける タウンミーティング形式de開催を計画しております。	荒尾稔	7-18日 千葉県立中央博物館にて		
	6	里山と里海	手塚	「房総の山～森～里、その現状と課題」	* プレイベント・・・ いすみの海の自然観察クルーズ(洋上から見るいすみの里山)	① 外房地域の比較的良好状況と生物多様性保全の活動について ② 緑地の劣化と農林漁業の厳しい状況について ③ 里山の自然・環境を脅かす産廃・残土・山砂採取の現状 * アフターイベント・・・ゲンジボタルの観察会 * オプション・・・宿泊交流会		正式に決まっていますが、今の所、「いすみ市岬町公民館」で調整中です。	2009年5月30日(土) 14:45～16:45 (13:00～14:30クルーズ予定)	オブション企画 ゲンジボタル観察会 19:00～20:00
完了済み	7	八千代の里山	高橋	谷津・里山を活かす町づくりと農業	内容案①講演 「谷津・里山を活かすまちづくりと農業」 ○講師 千葉大学名誉教授 中村 攻氏 ○谷津・里山で活動する市民団体からの活動紹介	○千代市では転入してきた市民が多く、市民の中に谷津・里山の大切さや状況が浸透していないと思われることから、①より多くのかたに知ってもらう ②その中で活動している各種の団体があり、その活動についても知ってもらうことを目的に開催したい	八千代市大和田新田312-5 ○八千代市環境保全課環境政策室 ○担当：高橋秀文○Tel:047-483-1151(内線 3215)	八千代市郷土博物館学習室	2009年3月21日 13:30-16:30	
	8	千葉市の里山と農業	萩原	千葉市の里山と竹	里山保全活動や都市農業の体験を通して、里山について理解を深める。	・里山保全活動体験 森林ボランティアの指導による竹(マダケ)の伐採・森林の見学 森林ボランティアが整備した森林(ヒノキ林)の見学と森林整備の必要性の説明 ・都市農業体験 隣接する観光農園でのブルーベリー摘み ・森林ボランティアが作成した木工品や竹細工の配布		おぐらの森(千葉市若葉区小倉町1497-2他) 千葉市所有の森林	2009年6月21日(日) 雨天の場合は秋に順延	参加者の募集方法は市政だよりで募集
休止	9	我孫子市と里山	大畑		本年度開催はなし 次年度以降に大畑さん手賀沼課から移動。 新体制 鈴木,成島,伊藤さんとのこと		我孫子市手賀沼課 大畑 04-7185-1484			
第1回目完了済み	10	里山と残土産廃	井村	国有林がお金で売られていく。それは間違っていないか。	千葉県の山系は変わってしまっている。動かないものは山。しかし千葉県は山が動き瞬くうちに山系は変わる。山は緑の森を作る。千葉県は森がなくなり茶色の台地ばかりになっている。自然をだいにしていこう	千葉県の大事な宝物、国有林、鬼泪山の山砂を10年間もとり続け、羽田拡張などに当てるといふ。自然を売買の対象にするのはおかしい。鹿野山の景色が変わってしまう。	代表 藤原寿和 構成員 金井珠美: 山本友子:鈴木紀靖:井上由紀子:藤村由美子:井村弘子 他 連絡先047-454-7549井村	千葉市民文化センター	○第1回 2009年4月講演会5日「森林学習会」	○第2回5月展示会○第2回展示は里山シンポジウム会場の予定
完了済み	11	里山と森づくり	星野奥山	里山の森の復元	昨年3月8日に多くの皆様のご支援により植樹祭を行い森の復元事業がスタートしてから1年が経ちました。森の恵みの椎茸の栽培と栗の木を植えます。千葉市環境保全部長様他にも参加していただき、谷津田と里山を復元することの意味や森と水と食べ物が繋がっていること、作業や自然遊びをとおしてご一緒に祝いしましょう。	内容： 1. 椎茸の栽培(大人・子供20名程度) 椎茸の話 椎茸の菌打ち:子供たち中心 2. 手入れ作業・苗木を植える準備:大人中心 3. 休憩 懇談昼食*お弁当持参 4. 栗の植樹 服装・持物:運動靴または長靴・軍手、帽子、タオル、木槌、弁当、水筒 土地改良区と緑の環が千葉市に谷津田保全条例に植林した部分を対象区域に追加することを要望しています。	運営:千葉市板倉大椎土地改良区/緑の環・協議会 事務局:267-0066 千葉市緑区あすみが丘2-38-15 問合せ:043-294-6885 mai:er8m-hsn@asahi-net.or.jp	3/28の定例作業とイベントを開催する	日時2009年3月28日(土)10:00～15:00(雨天順延3月29日(日))	○第3回6月第2回講演会
休止	12	里山とWEBGIS情報	荒尾		本年度は開催なし 次年度2回目を予定					
完了済み	13	里山と農業	金親	里山と農業	遊休農地・耕作放棄地問題 活用の一つとして、放置されている谷津田の湿地としての再生。農業を、どう活性化していくか。環境と農業の一体性・不可分であることを再確認する。	第2部「遊休農地・耕作放棄地問題」報告および問題提起 13:30～16:00 ●I 報告および問題提起 ●①耕作放棄地を取り巻く状況と対策について●千葉県農村振興課地域支援室 越川 浩樹氏●②耕作放棄地への取組み 印旛沼土地改良区 高橋 修氏●③耕作放棄地対策の現状と今後 JA富里 常務理事 仲野 隆三氏●④「株式会社支援農いんば」の発足レポート JAいんばの事例報告 金親 博榮	金親 :090-4678-8357	敬愛大学佐倉キャンパス JR総武本線物井駅より徒歩10分位 敬愛大学佐倉キャンパス 国際学部棟 (10号棟1階)1001教室 参加定員:100名まで 参加費:無料	平成21年4月25日(土)10:00～17:30	主催:里山シンポジウム実行委員会・千葉県・佐倉市・敬愛大学・ちば里山センター・千葉県緑化推進委員会
完了済み	14	里山と政策	小西	オフセット・クレジット	オフセット・クレジット(J-V E R) (Japan Verified Emission Reduction) とは、直接削減できないCO2の排出分を、植林やクリーンエネルギー関連の事業などで相殺するカーボンオフセットに用いるために発行されるクレジットのこと。一定基準を満たすものをオフセット・クレジット(J-V E R)として国内で認証する仕組みを構築し、20年11月より、気候変動対策認証センターで申請の受付がはじまっている	講師:幸福智(こうふくさとし)氏 (社団法人 海外環境協力センター) 昨年11月よりオフセット・クレジット(J-V E R) 認証制度の申請がはじまり、千葉県でも新年度より里山保全にこの制度を生かしていこうとしているところです。その仕組みを知り、私たちが地域ですすめる里山保全にどのように活用していけるのか、その可能性について学びたいと考えています。	連絡先 金親博榮 小西由希子 Tel043-246-0455 konikoni@tky.3web.ne.jp	Qiball(きぼーる) 11階 中央区ボランティアセンター 大会議室①	2009年4月11日(土)1:30～3:30	里山シンポジウム実行委員会 政策分科会 大会議室①
2回目	15	里山と医療・福祉	赤城	森林療法(セラピー)	森林の中を皆でいっしょに時間をかけて歩くことにより、ストレス軽減、癒しなどのセラピー効果を体感できる内容といたします。 障害のある人も無い人も、森の中で季節の移り変わりを楽しみながら、ハイキングのつもりで気軽に参加していただければと思います。	4/29(水) 泉自然公園 5/24(日) 清和県民の森、 6/21(日) 船橋県民の森 9/6(日) 清和県民の森 11/22(日) 市川植物園 H22./2/21(日) 佐倉市民の森	代表:赤城建夫 林みね子 増田淳 (TEL&FAX043-227-8305)			ワークホーム里山の仲間たち

休止	16	里山と文化・伝統	清藤		このテーマでは昨年度にて終了。 本年度計画なし					
休止	17	里山と教育	佐野	休止						
完了済み	18	里山と野点	鈴木	スローライフ	植林10年後の森の木霊に囲まれて、鹿島川水系の井戸水で薄茶を一服お楽しみください。先着20名様のお茶会です。要予約 参加費3000円 軽作業あり 雨天中止	2009/4/4 11:00～15:00 11:00 現地集合 茶席の準備と軽作業 12:00昼食(各自持参)自己紹介 13:00～お茶会・里山の今を味わう15:00終了	鈴木優子 043-254-3241	下泉・森のサミット	2009年4月4日 1:00～15:00	
	19	里山と竹	田代	竹林整備の必要性和美味しい穂先タケノコ	武林が放置されると、浅根が多くなって竹林内の保水性が減少する。そのため、大雨による表土の流失や地盤が弱まり、斜面や河川敷が抱懐する危険性が高くなっていく。今回は、竹林整備の実践例を現地で報告するとともに、穂先タケノコがおいしいこと、新新種の黄金タケノコを紹介する。	ちくりん整備の実際を現地で紹介する。同時に、マダケナドノタケノコは、かなり伸びた後の穂先が特に美味しいことは知られていないので、竹害対策上、その積極的な利用方法を紹介する。		成田市竜台305(竹林セラピー園、黄金モウソウチク)	2009年5月23日(土) 10:30～12:00	田代武男(携帯電話)090-2328-0116(代表)、田中昭三、林正治
完了済み	20	里山と水循環	桑波田	里山と水循環「里沼めぐみ(生態系サービス)」		I 話題提供 ①里山・里海・里沼サブグローバルアセスメント 千葉県立中央博物館 中村 俊彦氏 ②里沼めぐみ 今と昔 千葉県印旛地域整備センター成田整備事務所 宇野 晃一氏 II意見交換 コーディネーター千葉県環境研究センター 小倉 久子氏	桑波田 090-5415-9074	敬愛大学佐倉キャンパス JR総武本線物井駅より徒歩10分位 敬愛大学佐倉キャンパス 国際学部棟(10号棟1階)1001教室 参加定員:100	2009年4月25日(土) 10:00～17:30	主催:里山シンポジウム実行委員会・千葉県・佐倉市・敬愛大学・ちば里山センター・千葉県緑化推進委員会
完了済み	21	里山と都市緑地	山田	都市に残る里山の価値	道路問題で揺れた『関さんの森』ですが、道路は里山の核心部分を迂回して通ることで決着。今回の分科会では、その報告を兼ねながら現地を見学。タケノコ掘りを体験し、野草の天ぷらを試食して、都市に残る里山の価値を見つめなおします。	分科会代表 環境パートナーシップちば 桑波田 和子	山田純稔 047-346-2878 junnen@mb.infoweb.ne.jp	関さんの森 松戸市幸谷	2009年4月19日(日) 10:00～13:00	関さんの森エコミュージアム雨天中止 現地は、公園予定区域で、駐車場やトイレなどがまだ整備されておりません
	22	里山と生物多様性	加藤	計画中です	温暖化と生物多様性などを、昨年に継続して「ホテル」をテーマに、10月まで実施で計画中です。	時期未定。ただしゲンジホテルが活躍する5月末から、ヘイケホテルに変わった6月頃実施の調整中。あるいは10月頃。ホテル調査完了後	加藤賢三 047-450-9077			
完了済み	23	里山と教育	上善	校庭の樹木に自然を学ぶ	小学校の校庭樹木は、指導者の意識次第で、子ども達にとって、森林や里山の入り口となる。それは指導者が校庭樹木を植物園的に比較分類ですませるのではなく、森林の学習フィールドと位置付けて子供たちに里山や生物多様性に関心を持たせる足がかりを作ることが肝要。今回はその実践例を報告し、広く校庭樹木の教育的利用を呼びかけた。	基調講演:山下宏文氏(京都教育大学教育学部教授) ●コメンテーター 中村俊彦氏(千葉県立中央博物館副館長) ●事例報告1.千葉県立みつわ台北小学校(児童作成の樹木図鑑) 2.千葉県立みつわ台北小学校(第4学年理科の学習・四季の校庭) 3.東京都練馬区立中村西小学校(校庭樹木の活用例) ●アトラクション 1.オープニング演奏(みつわ台リコーダー愛好会) 2.草間休韻演奏(アフリカン・ジンベエ鼓)	上善峰男	千葉県立中央博物館講堂・定員200名	2009年2月2日(日) 13:00～16:00	●主催 森林文化教育研究会 里山シンポジウム実行委員会●後援 千葉市教育委員会(申請中)
完了済み	24	里山と芸術	増田		佐倉工業団地の裏の湧水公園にて、自然観察会を行います。今回のテーマは、「4月の里山」です。半日、里山を歩いてそこで観察、発見した花(植物)、昆虫、鳥、小動物をスケッチします。そして、アーティスト永島充さんにご指導いただき、スケッチをもとに版画を制作します。 緑に彩られた木々の梢、甲高い鳥の囀り、谷津田の清らかな水の流れなどの里山の原風景の素晴らしさを、より多くの県民の皆さんに伝えることができればと思っています。	4月18日(土)自然観察会 直弥の湧水公園 4月19日(日)版画ワークショップ 長島充先生 佐倉市立美術館 4月29日(水)～佐倉市立美術館にて展示	増田 淳 TEL&FAX 043-227-8305	直弥の湧水 佐倉市直弥(佐倉工業団地の裏) 佐倉市立美術館		アーティスト・長島充さん 共催:佐倉市立美術館 佐倉市立美術館学芸員 柴田さん
完了済み	25	佐倉市の里山	竹本	佐倉市の谷津環境の保全	平成18年度から(仮称)佐倉西部自然公園予定区域内で「ちば環境再生基金」の助成を受け、佐倉市谷津環境保全指針に基づき畔田谷津環境保全整備事業を実施しています。平成19年度からは公募市民による畔田谷津ワークショップを立ち上げ、谷津環境の保全活用方法の検討や保全活動、生物調査などを実施しています。この畔田谷津の自然環境を県民の皆さんに知っていただくとともに、谷津保全の活動を体験していただきたいと思っています。	畔田谷津の保全活動体験 9:30-12:00 谷津保全活動の体験作業(草抜き、草刈、生物観察) ※畔田谷津ワークショップでは、毎月第2第4月曜日の午前中に現地作業や会議を開催しています。入会は市環境保全課で随時受け付けています。作業内容は、復元した田んぼ状の池の草取り、不耕起稲作栽培による環境保全、湿地の草刈り、斜面林下の農道の枯れ枝や枯れて腐った木の除伐作業などです。この他、生物調査に関して、植生、鳥類、両生類、魚類、昆虫、水生生物などの調査班を作り、動植物の記録作成活動を行っています。	佐倉市環境保全課環境保全班 内田亭 Tel:043-484-4278 Fax:043-486-2504 E-mail:kankyohozen@city.sakura.lg.jp 佐倉市のホームページ http://www.city.sakura.lg.jp/	(仮称)佐倉西部自然公園予定区域内の畔田谷津(佐倉市下志津・畔田地先)集合:9:15	2009年5月11日(月)9:30～12:00	畔田谷津ワークショップメンバー ワークショップには、運営委員と生物調査班のリーダーがいます。
完了済み	26	里山(山・川・海)とフィールド	栗原	フィールドミュージアム現地ワーク	(関宿城周辺)	関宿城博物館とその周辺を探検して、地域のお宝(資源)探しを行い、博物館と市民が協働して展開できるフィールドミュージアム活動について意見交換します。	栗原裕治 NPO法人千葉まちづくりサポートセンター e-mail:ku-born@mti.biglobe.ne.jp URL:http://www.jca.apc.org/born/	(関宿城周辺)	2009年5月16日(土) 時間は調整中	共催:千葉県フィールドミュージアム事業推進委員会 千葉県立中央博物館
完了済み	27	里山とミツバチ問題(Pert-1)秋に再度予定。	荒尾	里山とミツバチ問題は、日本の農業にとって奥深いテーマ。今回は勉強会です	「ミツバチの激減の現状・原因を考える勉強会」これは、農業に詳しい方々を驚かせている。底知れない部分を感じられ、場合によっては今後、農業関係者だけでなく、生物多様性にかかわる。大きな問題になることも想定されます。2009年8月末に生物多様性COP10に向かつて、総合的な観点にたって開催予定のいくつかの中の一つとして「里山とミツバチ Pert2」開催を予定。その準備会と位置付け。	I 話題提供● ①今話題のミツバチ問題とは 日本不耕起栽培普及会会長 岩澤 信夫氏●②セイヨウミツバチとニホンミツバチ(株)イカリ消毒研究員 呂井 良守氏●③研究員でハチ類の専門家 千葉県立中央博物館 宮野 伸也氏 II 意見交換 分科会代表 里山シンポジウム実行委員 荒尾 稔	荒尾稔 minoruarao@tml.co.jp	敬愛大学佐倉キャンパス JR総武本線物井駅より徒歩10分位 敬愛大学佐倉キャンパス 国際学部棟(10号棟1階)1001教室 参加定員:100名まで 参加費:無料	2009年4月25日(土) 10:00～17:30	主催:里山シンポジウム実行委員会・千葉県・佐倉市・敬愛大学・ちば里山センター・千葉県緑化推進委員会
完了済み	28		金親	ねぎらいと感謝の会	今回の全体会では時間の都合上分科会の報告ができません。そこで、以下有志の発案で、分科会の中間報告会を開催したいと考えております。	緑したたるコナラ林で、すでに終了した分科会の報告や今後開催する分科会の紹介、それぞれの活動のPRなど、楽しく交流できたらと思います。堂本前知事や歌手の松尾貴臣さんもギターを携えて参加して頂けることになっています。ご苦勞をねぎらい、これからのみんなの活動が一層元気になるよう、大いに語らい、英気を養いましょう。たくさんの方が参加して、楽しい集いにしたいものです。ご参加よろしくお願いたします。	連絡先 金親博榮 携帯090-4678-8357 hirok@dp.u-netsurf.ne.jp	谷当キャンプ場一若葉区谷当町(http://www2.u-netsurf.ne.jp/~chibaygc/)参照。アクセス千葉駅千城台駅京成バス「御成台車庫」行き。終点下車徒歩8分です。駐車所完備	2009年4月26日(日)14:30～17:00 雨天決行	会食準備があり、4月22日(水)までに予約ください。当日参加はご相談。●参加費(バーベキューを予定しています)1,500円。●その他、設営の作業をしていただく方を募ります
	29	里山とあそび			ネイチャーゲームのイベントを、分科会として ちば市ネイチャーゲームの会「春の会」として参加	ちば市ネイチャーゲームの会「春の会」として参加者:20名+指導員10名 くらい。内容:ネイチャーゲーム及び木のぼり2種(ブリ縄、ツリーイング)雨天時については、未定です。	ちば市ネイチャーゲームの会 運営委員長 御須裕子	金親キャンプ場	2009年5月24日(日)	

*2009実行順に、そのまま配列しました。*アーカイブの関係で、本年もこの番号をそのまま踏襲していきたいと考えています。3,9,12,16は、そのまま空白として残していきたいと思っています。

*過去に行われた分科会のデータをPDFで準備しています。分科会の会場で、過去(アーカイブス)資料として、販売をいただき、分科会費用の一部に充当を提案します

*番号は、固定していきます。新規は追加番号で。1年間休止は休止として、背番号は変えません。